

●待降節第四十日

泉のほとり

今日の詩篇「第九編」

わたしは心を尽くして主に感謝をささげ
驚くべき御業をすべて語り伝えよう。



主イエスを心に

日本では教会に来ていない人々も、大勢クリスマスを祝います。でもそれは主イエスのご降誕を祝うものではありません。ケーキやツリーを飾って祝う西洋風の家庭忘年会です。主イエスが心の中にいない人々には、本当のクリスマスは祝えません。

主イエスが心の中に入ってくださいるためには、そのための道が必要です。「娘の子らよ、差し迫った神の怒りを免れると、だれが救えたのか」という洗礼者ヨハネの言葉は、その道を作るための言葉です。

娘は毒蛇です。わたしは皆が、毒を持ってゐるのです。その毒は唇にあります（ローマ三・一二）。その唇から出るわたしたちの言葉に毒があるのです。いじめられて死ぬ人が絶えません。その多くは言葉によるいじめです。毒のある言葉が、人を死に追いやっていきます。でもそれを語った人には、その自覚がありません。

わたしは誰でも、他人の言葉で傷つけられた経験を持っています。でも自分が他人を傷つけていることには、なかなか気づきません。試みに、一緒に生活している人に訊いてご覧下さい。「わたしの言葉で傷つけられたことがありますか」と。殆どの人が「はい」と答えるでしょう。だから主イエスは、わたしたちの言葉を厳しく問われるのです（マタイ一・二三）。

娘の子らよ、と言われても仕方がない自分の

姿に気づかなければ、主イエスの救いはわかりません。主イエスもフアリサイ派の人々に向かって、「娘の子らよ」と言われましたが、彼らは全く動かされませんでした。だから救われなかったのです。

ヨハネの言葉を聞いた人々は、途方に暮れました。言われたことが本当だったからです。それで、自分たちはどうしたらよいか、とヨハネに尋ねました。ヨハネは「困っている人がいたら助けてあげなさい。徴税人は、決められた額以上に取り立ててはならない。兵士は自分の給与で満足しなさい」と教えました。

ヨハネが教えたことは、当たり前のことです。でも実際は、いじめられている人を助けることは難しいです。自分がいじめられるかも知れないからです。決まった額の取り立てをする徴税人も、自分の給与で満足する兵士も、周りの徴税人や兵士仲間から馬鹿にされ、仲間外れにされるでしょう。だからいつの間にか、周りに潤子を合わせてしまうこととなります。

何をすればよいかは、誰もが知っています。必要なのは、それを実行する力です。その力を、ヨハネは与えません。自ら十字架の上でいじめられ、馬鹿にされ、仲間外れにされた主イエスだけが、その方を与えてくださいます。だからわたしたちは、主イエスのご降誕を、心から嬉しい出来事として祝うのです。今年皆さんがそれぞれに祝われるクリスマスが、忘年会ではない、本当のクリスマスになりますように。

(ルカ三・一〇〜一八)

祈り

○わたし共の主イエス・キリストの父なる神、憐れみの神、忍耐と慰めの神。今、慰めよ、わが民を慰めよ」という預言者の言葉が耳元で鳴り響いているのを聞きながらこの礼拝を始めることができます。すこすこ心から感謝いたします。

「正しい者こそ、主を讚美するに相応しい。喜びの歌をもつて、新しい歌をもつて主をほめたたえよ」とあなたは呼びかけておられます。今、本当に新しい歌を携えて来たか。今、歌う歌は、真実にあなたの恵みを映すものであるかを思うときに、恥ずかしい思いをしないわけにはいかないわたし共であります。相変わらずのわたし共であり、何度新しい決意をしても、古い自分に戻っていつてしまふようなわたし共であります。しかし、新しきはわたし共が作るものではなく、あなたが与えてくださるものです。この日の朝の暗れ着もまた、あなたの賜物でしかありません。あなたが与えてくださる新しい慰めと喜びに包まれて、今、わたし共はここにあります。ここに來ることのできない多くの兄弟と姉妹を思い起こしながらあります。病床にありながら、ついに今年もクリスマスまでの季節を迎えてしまったと思っている者たち、病気の者の傍らに付き添いながら、待降の季節を迎え始めた者たちがおられます。いろいろ理由を白分で作つて、ここ

に來るのをやめてしまった者もいます。わたし共の証しと愛の行いの力足りないために、ここに導いてくることのできない友がいます。そして、家族があります。

その中から、まさしく罪人の頭であるが故に運び分かれて、多くの人に先んじて、わたし共がここにおられます。それらの人々のために真実の祈りを献げる礼拝としてください。何よりも良き御言葉を聞かせてください。御筆を注いでください。望みを知ることができまふように。疲れた体にさえ、ここにあつては新しい力がみなぎつてくるといふ体験をさせてください。そしてどうぞ、主が生まれてくださったことの喜びが全身を満たし、これによって生きる者にしてくださいまふように。

多くの人々が平和を語り、しかもなお真実の平和を作ることができず、お互いの不信と憎しみの故に武器の数を増やしていかねばならない世界を、憐れみのうちに覚えてくださいまふように。その世界の片隅に隠れたように、しかし真実の愛に生きようとしている者を祝福してください。愛の貧しさを嘆き、詫びつつ、なお愛に生きようとする者たちを祝福のうちに置いてください。すべてのわがが虚しくないことを悟らせてください。愛の祭りが來るからであります。わたし共もそこに立たせてくださいまふように。今、そのために、心からあなたの栄光をほめたたえる歌をわたし共の歌としてください。

主イエス・キリストに御名によつて、感謝し、祈り願います。アーメン

(加藤常昭「み前にこそぐ祈り」より)

今日のお知らせ

○第一礼拝で教会学校の二学期終業式を行います。精勤生徒の表彰をします。

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーでのコーヒースービスと、園舎二階リズム室では、「ぶどうの会」が開かれます。どうぞご参加ください。

○第二礼拝後、ホールで讚美と報告の会をします。お昼はお弁当です。

○午後二時から、カナルルームで定例の役員会を行います。役員はお集まりください。

○役員会と並行して、イブ礼拝のキャンドルの準備などの作業をします。お手すきの方は、お手伝いください。

○二四日(上)午後四時半と六時半の二回、クリスマスイブ礼拝を行います。今年はシャルパンティエの「クリスマス真夜ミサ曲」による音楽礼拝です。

○来週はクリスマス礼拝です。朝一〇時から一回礼拝です。

○来週のクリスマス礼拝後、教会学校小学科生徒によるページェント「羊飼いの笛」を礼拝堂で上演いたします。どうぞご覧ください。

ニューヨークだより

11月上旬の大統領選挙が終わってから、教会へ足を運ぶ人が増えていきます。特に選挙のあった次の日曜日は、教会の駐車場がいっぱいになるほどでした。

ニュースでは、あれほど民主党のヒラリー・クリントン氏が優勢だと言われていたのに、結果はトランプ氏の勝利でした。

人々は予想外の結果にこれから先、どうなるのか不安になりました。9・11の時もそうでしたが、アメリカでは大きな事件や出来事があると翌週は教会へ足を運ぶ人が普段より多くなります。このことについての神様のメッセージは何なのか、自分達には到底理解できないことを御言葉を通して、また牧師の説教からメッセージを受け取ろうとします。

私に通っている教会では、皆の予想と期待を裏切って、大統領選挙の話題には、一切触れませんでした。

そのことが余計に、世論がどうであれ、大統領が誰であれ、クリスマスチャンとして私達は、何をすべきなのか、何を第一にして生きるべきなのかを考える機会となりました。

私のまわりにも次期大統領を支持した人、そうでない人に分かれています。選挙の結果に不満な人も多くいます。しかし、私達は皆、為政者が主を畏れ、御言葉に従って歩むことができるように心を合わせて祈っています。

神様は、どんな人をも変えることができることを知っていますので、この選挙結果が神様の御心とするならば、トランプ次期大統領ではなく、神様に期待していこう、と言っています。

山下悦代記



紫園香音楽伝道師は、今日、午後三時からインマニエル仙台キリスト教会で、また21日(水)午前10時から、横浜刑務所クリスマスで、23日(金)午後2時から、町田ファミリーチャペルのクリスマスチャリティコンサートで奉仕をします。どうぞお祈りください。

聖書の会

○朝の聖書の会

○聖書の夕べ

今季は終了しました。

1月から再開致します。



ミニコンサート

1月26日(木)12時30分開演

ピアノ演奏

次週礼拝

●クリスマス礼拝(午前10時)

讃美歌106番 112番

説教「シメオンが見ていた救い」

聖書ルカ2章22〜35節

説教者 黄允浞 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 95番 (1.3.5)

97番 (1.3)

説教 「主の言葉は実現する」

聖書 ルカ1章39～45節 (新約P100)

司式者 石川 一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄 允澁 副牧師

前奏曲 「グルーンスリーブス」 R.R.バリ

○ 讃美歌 95番 (1.3.5)

1. わが心はあまつ神を とうとみ

わがたましい 救い主を

ほめまつりて よろこぶ

3. 御名は清く 大御業は かしこし

代々にたえぬ みいつくしみ

あおぐものぞ うくべき

5. アブラハムのすえをとわに かえりみ

イスラエルを 忘れまざで

救いたもう とうとき アーメン

○ 教会学校生徒による讃美

「クリスマスメドレー」

○ オルガンによる讃美

「汝のうちに喜びあり」 編：D.ワグ

○ 讃美歌 97番 (1.3)

1. 朝日は昇りて 世を照らせり

暗きにすむ人 きたりあおげ

知恵に富みたる主 世にいでたり

愚かなる人は きたりまなべ

3. 救いを賜う主 世に生れぬ

高きも低きも きたりいわえ

天地しらす主 世にあらわる

よるずの物みな どよみうたえ

聖餐曲 「The Holy Boy」 J.アイランド

後奏曲 「ノエル」 A.ギルマン

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 97番 320番

詩編 第9篇 (旧約P840)

説教 「聖なるものになろう」

聖書 IIコリント6章14～7章1節

司式者 石川 一 兄 (新約P332)

説教者 聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲 「いずこの家にも」 J.S.バッハ

○ 讃美歌 97番

○ オルガンによる讃美

「汝のうちに喜びあり」 編：D.ワグ

○ 聖歌隊による讃美

「とうとし降誕」 T.ガイット

たえにとうとし うまれましぬ み子イエス

かいぼおけに かいぼおけに 眠れる みどりご

世のあがない主 世のあがない主

幸なるかな み子イエスを おがむは

神のみ子 イエスを

アレルヤ

○ 讃美歌 320番

聖餐曲 「もろびと声上げ」 作者不詳

後奏曲 「ノエル」 A.ギルマン

※ 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。